令和７年度　学生による地域フィールドワーク研究助成　中間報告書

大学等名：富山国際大学

代表学生：盛田春樹

指導教員：川本聖一

|  |  |
| --- | --- |
| 研 究 題 目（応募部門） | 地域の人々と進める空き家リノベーションによる地域活性化（F） |
| 研 究 概 要 | この実践教育は、実際に学生は建設プロジェクトを体験する。その中で学生は、世代の異なる地域の方々とのコミュニケーション取ることにより、そのプロジェクトを遂行していく。「建設行為」というプロセスは、ひとつのプロセスではなく、企画・基本計画・発注・基本設計・実施設計・工事・検査と、いくつかのプロセスであり、このプロセスの間に行政協議、品質確認、意思決定、金額調整、契約といった行為が含まれる。この一連のプロセスが建設プロジェクトである。川本研究室では、空き家を利用した建設プロジェクトを学生が理解しやすいように、①事業企画～⑩事業結果報告まで10工程に整理している。このプロセスを学生は実践教育として体験していく。以下今年度予定しているプロジェクトである1. 黒部市：学生が主体となる地域活性化（黒部市マイプロジェクト）
2. 射水市：中央町プロジェクト
3. 富山市：学生が主体となる地域活性化（月岡自治振興会と共同事業）
4. 富山市：ウエルビーイング住宅プロジェクト
5. 富山県全域：その他住環境に関する地域活性化活動
 |
| これまでの活動状況と今後の活動予定（300字程度） | いくつかのプロジェクトのうち、下記を報告する。1. 黒部市：学生が主体となる地域活性化（黒部市マイプロジェクト）

令和6年から継続のプロジェクトで、高齢者と小学生が集まり、地域活性化する活動である。「黒部市マイプロジェクト」に採択され進んできたが、マージャン教室から家庭科教室という内容に変更して進んでいる。国土交通省の「空き家対策モデル事業」にも採択され、令和7年内に学生が提案した工事の一部完了を目指している（添付資料参照）。1. 射水市：中央町プロジェクトと新プロジェクト

新湊で行っている「射水市中央町プロジェクト」では、2025年6月のゲストハウス開業が開業した。そのプロセスを学生が取りまとめた（添付資料参照）。また、同市新湊地区にて新たな空き家再生がスタートしており、引き続き4年生、3年生が協力して進めている（URL参照）。<https://www.tuins.ac.jp/2025/07/18863/><https://www.tuins.ac.jp/2025/07/18896/>1. 富山市：学生が主体となる地域活性化（月岡自治振興会と共同事業）

防災・減災を目的に学生と自治振興会が共同で取り組んできた。避難のためのスタンプラリーの開催や、高齢者が避難情報を受発信できるようにするためのスマホ教室の開催などを行ってきた（添付資料参照）（URL参照）。<https://www.tuins.ac.jp/2025/06/18665/> |
| 当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。 | 変更なし |